

国道1号桜田通りの「トチの実落とし」で落としたトチの実を配布します

東京国道事務所では、道路の維持管理を目的に、トチの実が落下する前に竿などで叩いて落とす『トチの実落とし』を実施し、被害防止に努めております。

落としたトチの実は、ご希望される方に配布致します。

国道1号（桜田通り）のトチノキ並木は明治45年に植えられたもので、東京に現存する最も古い街路樹のひとつと言われています。トチノキは5月頃から花が咲き始め、4cm程度の茶褐色の実がなります。実は非常に硬く、成熟する10月頃に落下するため、歩行者や車両に被害を与えるおそれがあります。そのため『トチの実落とし』を実施し、被害防止に努めております。

例年、一般の方にご参加頂くトチの実配布イベントを現地で実施しておりますが、今年はトチの実の生育状況が悪く、例年に比ベトチの実の採取量が少量となる見込みであることから、イベントは開催致しません。

ただし、採取したトチの実については、ご希望される方に下記の配布場所・期間にて、お配り致します。配布量に限りがございますので、下記まで必ず事前連絡頂き、在庫状況等をご確認頂いた上でお越し下さいます様、お願い致します。

受付期間： 令和7年8月25日（月）～29日（金） 9時15分～18時00分

配布場所・問合せ先： 〒140-0003 東京都品川区八潮1-1-3
東京国道事務所 品川出張所
TEL 03-3799-6315

注意事項： トチの実の数には限りがありますので、必ず事前連絡をお願い致します。

配送等によるお渡しは行いません。必ず配布場所へお越し下さい。

配布トチの実が無くなり次第、終了とさせていただきます。

参考

トチノキは、日本原産の落葉高木で素直な幹立ち、力強く雄大な樹形で夏の緑陰効果が大きく、栃木県の県木にもなっています。トチノキの実には『トチの実』と呼ばれ、厚い果皮の中にある栗のような種子を渋抜きすることでトチ餅などの材料になります。また、湿布材やクラフト材などにも利用されています。

